



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月5日

上場会社名 株式会社タムラ製作所 上場取引所 東
コード番号 6768 URL <https://www.tamuracorp.com>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）中村 充孝
問合せ先責任者 （役職名）VP 経営管理本部長 （氏名）大石 光明 TEL 050-3664-0515
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	32,784	13.5	1,135	△3.7	1,103	19.4	3,044	—
2026年3月期第1四半期	28,872	18.1	1,178	7.8	923	△34.7	246	△69.1

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 2,918百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △1,775百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	38.25	38.16
2026年3月期第1四半期	3.03	3.01

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	131,136	65,175	49.6
2026年3月期	132,381	62,897	47.4

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 65,034百万円 2026年3月期 62,751百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	5.00	—	8.00	13.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		8.00	—	8.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	130,000	5.2	5,600	5.9	4,900	0.4	4,500	—	56.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名)、除外 1社 (社名) 田村汽車電子(佛山)有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年3月期1Q	82,771,473株	2026年3月期	82,771,473株
2027年3月期1Q	3,190,042株	2026年3月期	3,194,407株
2027年3月期1Q	79,579,828株	2026年3月期1Q	81,539,733株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

2026年8月5日(水)にTDnet及び当社ウェブサイトで開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における、当社グループの事業に関わるエレクトロニクス市場は、AIサーバー・データセンター関連の需要が引き続き拡大したほか、自動車の電装化の進展を背景に車載関連が安定的に推移しました。また、産業機器関連の需要も回復基調となるなど、当社グループを取り巻く市場環境はおおむね堅調に推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは第14次中期経営計画「One TAMURA for Next 100」に基づき、今後の成長に向けた基盤の構築（「成長の基盤づくり」）と効率的に収益を最大化できる体質への変換（「体質改善」）を推進しています。当第1四半期連結累計期間においては、資本効率の改善を目的として保有する投資有価証券の一部を売却するとともに、中国事業の再編の一環として連結子会社1社の持分譲渡を完了しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は327億8千4百万円（前年同四半期比13.5%増）となり、第1四半期連結累計期間としては開示来最高を更新しました。利益面は、電子化学実装関連事業において、原材料価格の急激な上昇に対し、連動相場制による販売価格への反映に時差が生じたことから、営業利益は11億3千5百万円（同3.7%減）、営業利益率は3.5%となりました。経常利益は11億3百万円（同19.4%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益および中国連結子会社の持分譲渡益の計上により、30億4千4百万円（同12倍）と前年同四半期を大きく上回りました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、売上高はセグメント間の内部売上高を含めており、セグメント利益は連結消去（主に全社未来開発費）により合計額が全社の営業利益と一致しません。

① 電子部品関連事業

生成AI関連の旺盛な需要が継続したことから、米国のデータセンター用PDU（電源分配ユニット）・UPS（無停電電源装置）向けを中心に、大型トランス・リアクタの売上が拡大しました。また、産業機械向けトランス・リアクタは、需要の回復を背景に堅調に推移しました。家電・住宅市場向けでは、電動工具向けチャージャに一服感が見られたものの、エアコン用リアクタは安定的に推移しました。

その結果、売上高は211億4千6百万円（前年同四半期比6.9%増）となり、セグメント利益は、大型トランス・リアクタや、航空宇宙・防衛向けトランスなど付加価値の高い製品の売上拡大により10億4千1百万円（同19.9%増）と、増収増益となりました。

② 電子化学実装関連事業

ソルダーペーストは、車載用途が安定的に推移したほか、AIサーバー向けなど情報通信関連の需要が増加しました。また、主要原材料である錫や銀などの金属価格の上昇に伴う販売価格の上昇が売上高を押し上げました。一方、足元の原材料価格上昇は緩やかになったものの、当第1四半期連結累計期間においては急激な原材料価格上昇に対し連動相場制による価格改定が追いつかず、収益性が低下しました。

ソルダーレジストは、スマートフォン向けフレキシブル基板用途に加え、AIサーバー向けも堅調に推移しました。

実装装置は、国内外の顧客における設備投資の回復が遅れており、売上は低位で推移しました。

その結果、売上高は115億6千5百万円（前年同四半期比31.6%増）と増加しましたが、原材料価格高騰の影響により、セグメント利益は6億1千万円（同19.8%減）と減益となりました。

③ 情報機器関連事業

放送業界全般において厳しい設備投資環境が継続しており、売上高は9千万円（前年同四半期比71.1%減）、セグメント損失は2億6千7百万円（前年同四半期は2億9千2百万円のセグメント損失）となりました。

なお、2026年4月8日付「会社分割（吸収分割）および情報機器事業の事業譲渡に関するお知らせ」で公表したとおり、2026年10月1日付で情報機器事業の譲渡を予定しています。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ12億4千5百万円減少し、1,311億3千6百万円となりました。流動資産が5億5千9百万円減少し、固定資産が6億8千6百万円減少しています。固定資産では、関係会社の売却に伴い有形固定資産が減少、政策保有株式の売却により投資有価証券が減少しています。

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ35億2千3百万円減少し、659億6千万円となりました。これは主に、仕入債務及び借入金の減少によります。

有利子負債合計（短期借入金・1年内返済予定の長期借入金・短期リース債務・長期借入金及び長期リース債務の合計額）は12億8千4百万円減少し、372億円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ22億7千8百万円増加し、651億7千5百万円となりました。これは主に、利益剰余金が24億1百万円増加したことによります。この結果、自己資本比率は49.6%となりました。

（自己資本比率は、純資産より新株予約権・非支配株主持分を控除して計算した比率を用いています。）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中東地域の情勢をはじめとした地政学的リスクなど懸念材料が多く、当社グループの事業に関わるエレクトロニクス市場でも先行き不透明な状況が続いています。こうした状況を踏まえ、2027年3月期の通期連結業績予想については、2026年5月11日に発表した予想を据え置きます。

電子部品関連事業では、米国のデータセンター用PDU・UPS向けを中心に、大型トランス・リアクタの需要が堅調に推移する見込みです。また、2026年7月21日付「EMG Power Electric S.r.l.の株式取得（連結子会社化）に関するお知らせ」で公表のとおり、今後、中電圧乾式トランス分野で、真空加圧含浸（VPI）方式およびモールドトランス技術等の高い技術力を獲得し、中電圧・大容量領域における対応力を強化することで、大型トランス・リアクタの製品ラインナップの拡充および提供ソリューション領域の拡大を図ってまいります。さらに、HVAC（施設向け空調設備）用リアクタ、UPS向け電流センサなど、データセンター関連製品の売上拡大に加え、産業機械向けトランス・リアクタの需要回復などにより、増収増益を見込んでいます。

電子化学実装関連事業では、車載用溶剤ペーストやスマートフォン向けフレキシブル基板用溶剤レジストなど主要製品の需要が安定的に推移することに加え、AIサーバー向けの溶剤ペーストや溶剤レジストなど、情報通信関連の需要拡大を見込んでいます。実装装置は、新機種投入に加え、海外における新規工場向け設備投資需要の取り込みや、国内市場での更新需要により、売上高は緩やかに回復する見込みです。利益面では、金属価格上昇に伴う販売価格の改定が進むことから、第2四半期以降は収益性の改善を見込んでおり、増収増益を予想しています。

なお、中東地域における地政学的リスクの高まりに伴い、一部の原材料価格等に上昇がみられるものの、現時点において当社グループの業績に与える重要な影響は生じておりません。今後の業績への影響を合理的に算定することが困難であることから、2027年3月期通期連結業績予想には織り込んでおりません。今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,953	17,918
受取手形、売掛金及び契約資産	32,489	32,069
電子記録債権	1,023	1,140
商品及び製品	9,639	10,141
仕掛品	3,823	4,128
原材料及び貯蔵品	12,341	14,133
その他	6,857	5,033
貸倒引当金	△90	△86
流動資産合計	85,038	84,479
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,369	28,791
減価償却累計額	△14,328	△14,491
建物及び構築物（純額）	15,040	14,299
機械装置及び運搬具	22,403	23,165
減価償却累計額	△17,251	△17,681
機械装置及び運搬具（純額）	5,151	5,484
工具、器具及び備品	12,146	12,346
減価償却累計額	△10,113	△10,325
工具、器具及び備品（純額）	2,032	2,020
土地	5,335	5,324
リース資産	9,242	9,496
減価償却累計額	△3,987	△4,322
リース資産（純額）	5,254	5,174
建設仮勘定	974	1,098
有形固定資産合計	33,789	33,401
無形固定資産		
のれん	119	103
リース資産	186	483
その他	713	686
無形固定資産合計	1,019	1,273
投資その他の資産		
投資有価証券	4,915	4,107
退職給付に係る資産	5,791	5,839
繰延税金資産	938	1,035
その他	965	1,077
貸倒引当金	△76	△77
投資その他の資産合計	12,534	11,981
固定資産合計	47,343	46,657
資産合計	132,381	131,136

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,705	12,153
電子記録債務	3,269	3,179
短期借入金	19,083	17,483
1年内返済予定の長期借入金	4,848	2,208
リース債務	1,074	1,210
未払法人税等	747	718
契約負債	124	81
賞与引当金	1,172	705
役員賞与引当金	49	15
事業整理損失引当金	1,390	1,390
その他	4,934	5,002
流動負債合計	50,400	44,148
固定負債		
長期借入金	9,039	11,599
リース債務	4,438	4,698
繰延税金負債	3,263	2,997
退職給付に係る負債	1,689	1,881
株式給付引当金	39	41
役員株式給付引当金	22	31
長期未払法人税等	52	52
その他	539	510
固定負債合計	19,084	21,812
負債合計	69,484	65,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,829	11,829
資本剰余金	17,028	17,028
利益剰余金	20,816	23,217
自己株式	△1,609	△1,606
株主資本合計	48,064	50,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,974	1,627
為替換算調整勘定	9,625	9,925
退職給付に係る調整累計額	3,086	3,013
その他の包括利益累計額合計	14,686	14,565
新株予約権	72	72
非支配株主持分	74	69
純資産合計	62,897	65,175
負債純資産合計	132,381	131,136

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月 1日 至 2026年6月30日)
売上高	28,872	32,784
売上原価	21,477	24,766
売上総利益	7,394	8,017
販売費及び一般管理費	6,216	6,882
営業利益	1,178	1,135
営業外収益		
受取利息	46	42
受取配当金	29	56
持分法による投資利益	66	10
受取和解金	128	—
受取補償金	—	52
その他	43	89
営業外収益合計	314	251
営業外費用		
支払利息	242	239
為替差損	165	24
その他	161	19
営業外費用合計	569	283
経常利益	923	1,103
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	0	1,522
関係会社株式売却益	—	669
特別利益合計	0	2,194
特別損失		
固定資産除売却損	6	10
特別損失合計	6	10
税金等調整前四半期純利益	917	3,287
法人税、住民税及び事業税	298	443
法人税等調整額	376	△197
法人税等合計	675	245
四半期純利益	242	3,042
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	246	3,044

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月 1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	242	3,042
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89	△347
為替換算調整勘定	△1,836	260
退職給付に係る調整額	△124	△73
持分法適用会社に対する持分相当額	△147	37
その他の包括利益合計	△2,018	△123
四半期包括利益	△1,775	2,918
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,766	2,923
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	電子部品 関連事業	電子化学 実装関連 事業	情報機器 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,782	8,777	311	28,872	—	28,872
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	10	0	11	△11	—
計	19,783	8,788	312	28,883	△11	28,872
セグメント利益又は 損失（△）	868	761	△292	1,337	△158	1,178

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△158百万円には、セグメント間取引消去7百万円及び各報告セグメントに配賦していない全社費用△166百万円が含まれています。全社費用は、本社部門負担の未来開発研究費用および基幹システム更新費用です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	電子部品 関連事業	電子化学 実装関連 事業	情報機器 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,146	11,547	90	32,784	—	32,784
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	18	—	18	△18	—
計	21,146	11,565	90	32,802	△18	32,784
セグメント利益又は 損失（△）	1,041	610	△267	1,384	△249	1,135

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△249百万円には、セグメント間取引消去3百万円及び各報告セグメントに配賦していない全社費用△252百万円が含まれています。全社費用は、本社部門負担の未来開発研究費用および基幹システム更新費用等です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月 1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,067百万円	1,169百万円
のれんの償却額	12	14

(重要な後発事象)

当社は、2026年7月17日付で当社の連結子会社であるTAMURA-EUROPE LIMITED（以下、「TEU社」）を通じ、EMG Power Electric S.r.l.（以下、「EMG社」）の株式を取得して（以下、「本株式取得」）連結子会社化することを決定し、株式譲渡契約を締結しました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 EMG Power Electric S.r.l.

事業の内容 大型トランス、リアクトルの開発・設計・製造

(2) 企業結合を行う主な理由

当社は、中期経営計画「One TAMURA for Next 100」において、再生可能エネルギーや電力インフラなどのクリーンエネルギー関連市場を注力市場と位置付けています。電力需要の高度化・拡大などを背景に中電圧（Medium Voltage、以下、「MV」）領域の市場成長が期待されることから、当社はMV乾式トランスおよびリアクタ分野で高い技術力と豊富な実績を有するイタリアのEMG社の株式取得を決定しました。

本株式取得によりEMG社の技術力と当社のグローバルな技術基盤を融合し、MV領域の高付加価値市場における競争力の強化と技術基盤の拡充を図ります。

(3) 企業結合日

2026年10月1日（予定）

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得する議決権比率

80%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

TEU社が現金を対価として、株式を取得するためです。

2. 被取得企業の取得原価

約95億円

取得価額にはアドバイザー費用等を含み、また、最終的な取得価額は為替換算レート等により変動する可能性があります。

3. 発生したのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

現時点では確定していません。

4. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定していません。